

### 八幡神こそ日本の始祖神だった！

# 八幡神の正体 〈新装改訂版〉

## もしも応神天皇が百済人であるならば

定価 2,000 円+税 / A5 判 並製 / ISBN978-4-908073-58-8 C0021

林 順治 著



全国約 8 万の神社のうち半数を占めるほどの信仰を集めながらなぜ『記紀』に出てこないのか？

アマテラスを始祖とする万世一系物語の影に隠された始祖神の実像に迫り、天皇家、藤原家から源氏三代、現在に至る八幡神信仰の深層にある日本古代国家の起源を明らかにする。そして、とりわけ桓武天皇以後歴代天皇家、藤原家が執拗にエミシ征伐を繰り返し、徹底して差別したその過程と理由も丹念に追い、日本古代史の定説を覆す。

2012 年の初版（彩流社刊）を新装しわかりやすく大幅改訂。

【著者紹介】林順治（ハヤシ ジュンジ）

旧姓福岡。1940 年東京生まれ。東京空襲の 1 年前の 1944 年、父母の郷里秋田県横手市雄物川町深井（旧平鹿郡福地村深井）に移住。県立横手高校から早稲田大学露文科に進学するも中退。1972 年三一書房に入社。取締役編集部長を経て 2006 年 3 月退社。著書に『馬子の墓』『義経紀行』『漱石の時代』『ヒロシマ』『アマテラス誕生』『武蔵坊弁慶』『隅田八幡鏡』『天皇家の日本と〈私〉1940-2009』『八幡神の正体』『古代七つの金石文』『法隆寺の正体』『ヒトラはなぜユダヤ人を憎悪したか』『「猫」と「坊っちゃん」と漱石の言葉』（彩流社）。『応神=ヤマトタケルは朝鮮人だった』『仁徳陵の被葬者は継体天皇だ』（河出書房新社）、『日本人の正体』（三五館）、『漱石の秘密』『あっぱれ啄木』（論創社）、『日本古代史集中講義』『日本書紀』集中講義』『干支一運 60 年の天皇紀』（えにし書房）。

〈もくじ〉

#### 序章 日本および日本人の神

八幡神の出現/鹿島送りと八幡神社/エミシは異人種か/欽明天皇 = フカタク大王

#### 第 1 章 藤原不比等の子とその孫たち

「倭」から「日本」へ/律令国家日本と八幡神/雄勝城に至る道/持節大使藤原麻呂からの報告

#### 第 2 章 古代日本の守護神八幡神

藤原 4 兄弟と天然痘/金光明最勝王経と八幡神/蘇我馬子は大王だった!/聖武天皇と光明皇后

#### 第 3 章 皇位継承の危機

盧舍那仏と東大寺建立/雄勝城と保呂羽山/廃帝淳仁天皇/『続日本紀』の藤原仲麻呂伝

#### 第 4 章 法王道鏡と八幡神託

万世一系天皇と王位継承/法王道鏡の出現/八幡神託事件の真相/藤原氏陰謀説

#### 第 5 章 百済系渡来王朝とエミシ

対エミシ 38 年侵略戦争/俘囚伊治公告麻呂の反乱/天智系天皇桓武のトラウマ/巢伏村の激戦/坂上田村麻呂とアテルイ

#### 第 6 章 “吾は日本の神となった”

大神清麻呂の解状/加羅系日神と百済系日神/変身する八幡神/僧行教と石清水八幡宮/清和源氏の祖応神天皇

#### 第 7 章 河内源氏と百済系渡来集団

源経基、平将門を語る/桓武天皇の 5 世孫平将門/藤原摂関家の軍事貴族源満仲/藤原道長の妻倫子と父源雅信

#### 終章 もしも応神天皇が百済人であるならば

平忠常の乱と源頼信/河内国守護頼信と莊園坂門牧/壺井八幡宮と通法寺跡



えにし書房の商品は、トランスビューの取扱で納品します。直接取引の条件はトランスビューの商品とすべて同じ（返品随時可）です。取次ルートの場合は八木書店経由（返品可）です。トランスビューとお取引がない書店様は小社にご連絡ください。ご注文は 1 冊からお気軽に！

書店名

---

ご担当

『八幡神の正体』